下水道耐震2014指針(ボックス縦方向)

土木・建築設計計算　SUCCES

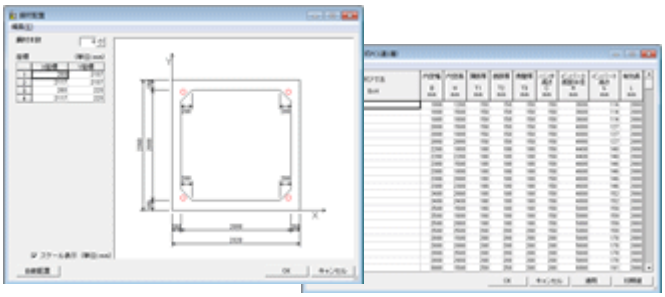
下水道耐震2014指針/2015計算例対応
公益社団法人 日本下水道協会「下水道施設の耐震対策指針と解説 2014年版」および「下水道施設耐震計算例」（2015年版）に準拠し、現場打ち、PC・RCプレキャストボックスカルバートの縦方向の耐震計算を行います。継手遊間の照査および現場打ちは鉛直断面の照査、プレキャストは縦締め鋼材の応力度、目地開き量の照査を行います。また、下水道耐震2014指針(ボックス横方向）と構造寸法、地盤条件などの共通データを共有して利用できます。

製品特長

プログラムの詳細

■ビジュアル入力により、使用性を向上、煩雑な耐震計算の手間を省力化
ボックスカルバートの構造と地盤のデータを元に、スムーズな入力から耐震計算を簡単に行えます。

■登録データ参照により効率的なデータ入力が可能断面寸法、配筋、コンクリート材料、鉄筋材料、接合材料の各データは、内部登録してありますので、登録データ参照により効率的なデータ作成が可能です。また、材料データは追加することも可能です



■『下水道耐震2014指針（ボックス横方向）』とデータを共有。
『下水道耐震2014指針（ボックス横方向）』と構造寸法、地盤条件などの共通データを共有しています。

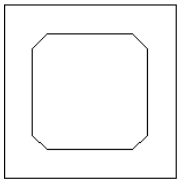
システムの適応範囲

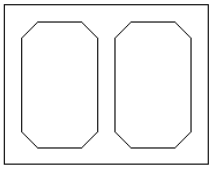
▶対応構造形式

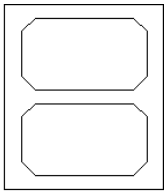
・PC製プレキャストボックスカルバート
・RC製プレキャストボックスカルバート
・現場打ちボックスカルバート

▶形式

1連1層、2連1層、1連2層

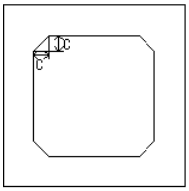

1連1層


2連1層

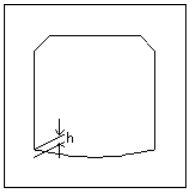

1連2層

▶形状

標準形、インバート形



標準形（C：ハンチ高）



インバート形（h：インバート高）

▶敷設方法

・通常敷設型
・縦方向連結型

▶最大土層数

30層

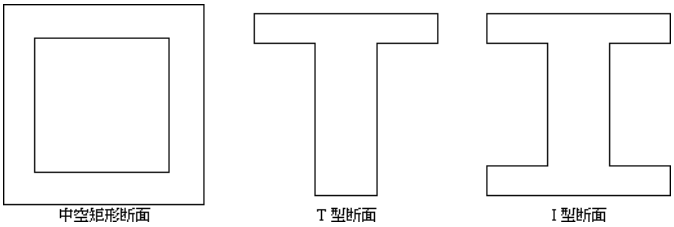
▶連結構造

1.接合材料：PC鋼材、高力ボルト
2.継手間隔内の最大プレキャストボックスカルバート数：999
3.鋼材数：4～30本

システムの適応範囲

▶照査断面

中空矩形断面、T型断面、I型断面



▶ 参考図書

公益社団法人日本下水道協会 「下水道施設の耐震対策指針と解説2014年版」
公益社団法人日本下水道協会 「下水道施設耐震計算例」（2015年版）

動作環境

※必要メモリ等はシステム環境によって異なる場合がありますのでご注意ください。

OS	Microsoft Windows 11,10 ※Windows動作保証の最新情報はこちら	ハードディスク	OSのシステム要件を満たし、問題なく動作する環境
メモリ	OSのシステム要件を満たし、問題なく動作する環境	ディスプレイ	1280×1024以上が表示可能なもの

情報サービス コンサルタント KTS
Knowledge Technology Science

※記載の内容は今後予告なく変更する場合がございます。
※記載の会社名・商品名は各社の商標もしくは登録商標です。